

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年1月7日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	栃木県庁	代表者名	福田 富一
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	028-623-2823
担当者役職	主査	担当者氏名	鶴見 吉和
住所	320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	前回のアドバイスを踏まえ実施したデータ分析の手法・結果について、評価や更なる改善に向けた具体的な助言をいただいた。県庁におけるEBPM実施方法について、助言をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	可能であれば、次年度以降もアドバイザーをお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2020年12月25日	14時00分	16時00分		120
	派遣形態	支援・助言 (オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員	7人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	前回のアドバイスを踏まえ実施したデータ分析の方向性や手法が正しいか、困難を感じた点 (データがない場合の対応、分析手法やグラフの見せ方など) への対応はどうしたらよいか。今回実施したデータ分析を踏まえ、県庁において横展開の方向性は間違っていないか。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	データの取得方法や分析の方法や、県庁において横展開するための手法がわかる。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	データ分析の前提となる仮説の立て方・見せ方、モニタリング指標の作り方、ターゲットの仕方・ペルソナの設定方法、グラフの見せ方、データアカデミー研修の実施方法。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	課題に対し、どのように仮説を立て、データを集め分析すべきか、どのようにその結果を見せるか具体的な手法のヒントを得た。また、データアカデミー研修を用いた県庁内研修について、イメージがつかめた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	県庁におけるEBPMの横展開の手法について、今後関係課と検討を深め、実施体制を構築する。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 県庁における実施体制に関する検討の過程であり、今後、アドバイス内容も踏まえて検討を進めていく。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	県庁におけるEBPMに基づく各事業の実施。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

